

# 令和元年度（2019年度） 区長参加の班会議資料について

Q\_武井区長は今年で何期目を迎えるのですか？

今年で3期目を迎えます。  
まさか私が区長になるとは思ってもいませんでした。  
早いものでもう4年が経過しようとしています。

Q\_区長になって感じたことや、ご自身の変化について気がついた点がありましたらお聞かせください。

区長一年目は、毎月の行事に追われ、時間に追われる日々を過ごしていました。2年目になると1年間の行事予定が頭に入り、多少の余裕が生まれたようです。3年目でようやく区民のみなさんに名前と、顔を覚えて頂くようになりました。

そして、青木平区の将来について考えるようになってきた……  
この点が区長になる前と、後では大きく変わってきた点だと思います。

Q\_「青木平区の将来について考えるようになった」と言うことで、何か具体的な行動や取り組みがありましたらお聞かせください。

ご存じのように青木平区は二つの町内を合わせも10班しかありません。非常にコンパクトな地域であるわけです。こんな地域特性を活かし、3年前から全部の班（10班）を対象に年に1度、区長が参加する班会議を行っています。

4年目が終わろうとしている令和2年の今年、改めて『自治会の役割』について考え、話をさせて頂いています。

私なりの結論として、自治会とは『区民の区民による区民のための組織』であると考えています。

そして、その自治会を支える主役は、区民である私達一人ひとりであることは言うまでもありません。

そこで、青木平区が目指す『将来ビジョン』を掲げることにしました。

全ての活動の目的は、この『将来ビジョン』の実現に帰結します。また、『将来ビジョン』を持つことで、区長をはじめとする役員が替わっても青木平区の進むべき方向は変わりません。目標が明確であれば具体的な取り組みが計画され、継続が可能となります。

私たち一人ひとりが今すぐできること！

**行動の大原則**

義務ではない・無理は禁物  
**楽しむこと！**  
楽しさを見つけること！

## 自治会のあり方・活動について

- ◆自治会とは？  
**区民の区民による区民のための組織**
- ◆区民のためとは？  
安全で、住みやすい環境づくりをめざして活動し、その実現をめざすこと
- ◆区民のための活動とは？  
自治会活動は、祭事・行事を多く含むが、本質の活動とは『似て非なるもの』ではないか？  
本質の活動とは区民が望む居住環境の実現では？

## 自治会活動を支える主役は誰？

わたし達一人ひとりで！

青木平を良くするのも悪くするのも、わたし達の心がけと（意識）と行動。そして参加する人の輪の大きさを！

## 青木平区の将来ビジョン

- ◆自然豊かで『きれいな住宅地！』住んでみたい地区でありたい。
- ◆若者が楽しく安心して暮らせる地区でありたい。
- ◆高齢者が生き々楽しく暮らせる地区でありたい。
- ◆助け合い、協力しあえる優しい人達の地区でありたい。

### 現在活動しているボランティア サークル・クラブ

- 1) グラウンド・ゴルフクラブ 月/水/土
- 2) 健康体操サークル（自彊術） 月
- 3) 寄り合い廻り 毎月30日
- 4) スロー・トレーニング 月
- 5) バトミントン同好会 土 市立体育館
- 6) ダイエット・エクササイズ／盆踊り 6月中から
- 7) Kids&Adults英会話教室 毎月第2日曜日
- 8) 踊る女子会（日本舞踊） 毎月第1金曜日
- 9) 草刈りボランティア活動 年4回実施



**Q\_青木平区の住民同士の交流について何か工夫されていますか？**

青木平区の大きなイベントは『夏祭り』です。『夏祭り』のコンセプトは『子供達を如何に楽しませるか？』であり、手作りのお店や、アトラクションなどを担当する班のみなさんで話し合い、工夫しています。昨年は、中学生が中心となり『流しそうめん』を行いました。また、『子供と楽しく遊ぶ日』『どんど焼きと焼き芋大会』『酒蔵巡りウォーキング』や偶数月のプレミアム・フライデーに行われる『プレミアム懇親会』などがあります。

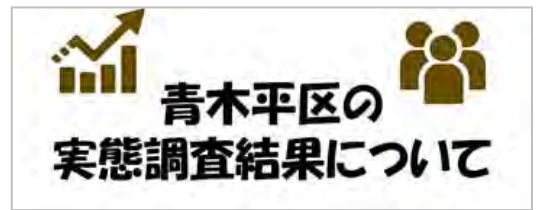
人が集まる場を通して、人と人との交流が少しでも広がればと考えています。

**Q\_将来を見据えた青木平区の長期的な課題とは何でしょうか？**

やはり、高齢化と人口減少です。これは、どこの地域でも共通した課題でもあります。この高齢化と人口減少を言葉として漠然と捉えるのではなく、ある程度の根拠を持って、将来を見据える必要があると考えています。

そこで明確にしておく必要があるのは『将来』とはどの位の時間を指すのかです。10年、20年、50年後と、いろいろ考えられますが青木平区の将来とは『20年後』としました。いま生まれた0歳児が20歳となる時間です。そして、人生100年と言われる時代です。69歳の私でも後20年は生きられる可能性を持った時間軸です。50年では長すぎて現実的ではありませんし、10年では短すぎ、現在とあまり変化がないのではと考え『20年』としました。

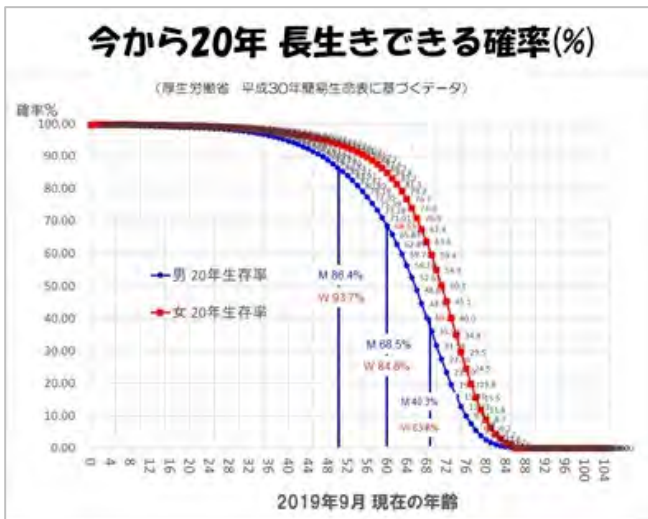
そこで、『今から20年長生きできる確率』を厚生労働省が発表している平成30年簡易生命表のデータを基に算出し、グラフ化してみました。



## Q では、20 年後の青木平区の人口はどのようになるのですか？

青木平の人口減少は既に始まっています。2013 年 7 月～2019 年 9 月までの 6 年間で 53 人減少しています。逆に世帯数は 16 世帯増えています。では、なぜ世帯数が増えても人口が増えないのか？ これは人数が 1～3 名の世帯が増えている事を表しているのではと考えています。

2019 年 9 月の青木平区の総人口は 848 人ですが、何も対策を取らなければ 20 年後には、300 人近く減少するとの予測結果が出てきます。これはあくまでも予測、推測にすぎませんが、しかし大きく外れることもないと思います。



それと、人口減少は世帯数の減少につながります。つまり、世帯数が減少するということは『空き家』増えることを意味しています。現在、青木平区の 1 世帯当たりの人数は 2.2 人です。人口減少数を 2.2 人で割ると『空き家』になる数が予測できます。300 人の減少は、136 軒の『空き家』となるのが考えられます。また、空き家になる前に一人暮らしの高齢者家庭が増えることが想像できます。少しずつ進行する人口減少には、なかなか気づきません。しかし、気がついた時には遅いのです。この先、将来を見据えた取組を今から開始しなければ手遅れになるかもしれません。そして人の意識や考え行動は一朝一夕には変わりません。時間が必要だと思います。

## Q ちなみに、富士宮市全体の 20 年後の人口を予測するとどのようになりますか？

同じような手法で富士宮市の 20 年後の人口を予測すると約 35,000 人の減少となり、10 万人を下回る可能性があります。2020 年 1 月の富士宮市の人口は 132,299 人ですが 20 年後、いまから何も対策を打たなければ人口は 97,000 人になってしまうかもしれません。このデータは人の寿命を表していますので、大きく外れることも無いと思います。そして、人口が増える要因として、出生数が死亡数を上回る事と、富士宮市への転入者数が転出者数を上回る事、この 2 点が増加して行かなければ、人口の維持や増加は望めません。しかし現状は、どちらも大きく好転する状況は望めません。

そして、『空き家』となる軒数は 14,700 世帯となり、一人暮らしの高齢者世帯が増えることも容易に想像出来ます。



## Q\_青木平区で取り組まれている具体的な『人口減少』対策について教えてください？

将来の人口減少に伴うリスクを最小限に留めるためには、様々な取組を考えていく必要があります。20年後という時間を考えた場合、『まだまだ先のこと』と捉えがちですが、この長い時間の中で、私達の意識や行動を変えていかなければなりません。地域を守るのは結局、そこに住む人々であり、その人々の考え、意識、行動の変化により、良くも、悪くもなるわけです。一朝一夕には人の意識や行動は変わりません。だからこそ、気がついた時にスタートを切らなくてはなりません。

青木平はインターネットを活用し『ホームページ』を作成し、公開しています。

都会を離れ自然豊かな場所で暮らしたいと願う人々に情報を提供しています。

今やインターネット(IT)は必須の時代です。今後、ますますIT関連や人工知能(AI)関連の仕事に携わる人も増えてきます。オフィスを必要としない業種に働く人々に、この青木平区のホームページが目にとまればと考えています。

そして、移り住んでもらうために最も大切なことは『きれいな住宅地であること』『住んでみたくなる住宅地である』ことです。

また、富士宮市の企画戦略課地域政策推進室の移住・定住事業にも参画し、内と外の両面から取組を行っています。

人口減少を食い止める事はできませんが、数を減らすことは可能と考えています。

そのためには、そこに住む住民の理解と協力は不可欠であり、地道な活動を継続していく以外に道はありません。

## Q\_『人口減少』にともない『空き家』増えると分析されていますが、この点の取組についてお聞かせ下さい？

『空き家』対策は、正直自治会だけでは対応出来ません。富士宮市の政策的支援があってこそ道が開けると考えています。『空き家』という言葉で一括りにはせず、①いま直ぐに住める住宅 ②多少のリフォームが必要な住宅 ③全面リフォームが必要な住宅 ④倒壊等の危険な住宅 など状態は様々です。

『空き家』住宅評価基準等を設定し、合わせて補助金制度の導入も検討の余地がありそうです。また、『空き家』に対する行政窓口の一本化も必要と考えます。



### 青木平に移り住んでもらう取組について

移り住むための条件は？ ターゲットはIT・AI分野で働く人々！

➤ **きれいな住宅地であること！** 放っておけばこうなる



- 移り住むための住宅があること！
- 『空き家』情報の提供 売家・賃貸
- インターネット環境が整っていること！
- 都心まで2時間以内の距離にあること！

### 20年後も自治会活動を維持し、継続できる環境作り

- ◆ 若い世代の入居促進（県内・県外を問わず）
  - ① 一戸建て中古住宅への入居促進  
※ 若い世代の富士宮市への定住化政策の一環として ※
  - ② 富士山を望む景観を生かしたピーアール
- ◆ 『空き家』対策
  - ① 不動産業者を通して処分する 『売家』 / 『賃貸』
  - ② 『転出』する場合は、必ず連絡先を班長に連絡

**富士宮市の政策的支援があってこそ実現への可能性が開ける！** 行政窓口の一本化

様々な事情により、住み慣れた土地、家から離れざるを得ない場合は、自宅をそのままにせず、不動産業者を通して処分することも考えなくてはなりません。このことは、時間をかけ、今からゆっくりと考えておく事も必要です。

いずれにしても、自治会と行政、そして宅建協会等を含む三位一体で取り組んでいく大きな課題であることは間違いありません。

Q\_将来を見据えた青木平区の長期的な課題の一つ目は『人口減少』であるとうことは分かりました。  
では、二つ目の課題は何ですか？

やはり他の地区と同様に、『高齢化』の進行です。青木平区の高齢化率は現在、2020年1月のデータでは37.1%となっています。富士宮市の高齢化率は28.8%ですので、青木平区は市全体の割合より10%程高い状態となっています。今後、誰しも等しく歳を重ねて行くわけですが、『お互い様』の精神でご近所のご高齢者の方々に対して『何気なく気にかける』ことが大切だと考えています。青木平区では班を中心に『近隣見守りサポート』を推奨しています。普段から何気なく気にかける、時々声をかける、ゴミ出しなどの小さなお手伝い等の行動を見守りの基本とし、推奨しています。しかし、『見守り』活動は相手があり、人との関係が影響します。私を含め、誰しも『人の世話にはなりたくない。人に迷惑を掛けたくない』との思いを強く持っています。これからは時間をかけ、『多少は人の世話になっても良いんだ。多少は人に頼っても良いんだ。』と云う気持ちに変えていくことも大切です。それには共に支え合う『お互い様』の気持ちを育てていくことだと感じています。『高齢化』にともなう課題として『認知症』の問題があります。富士宮市が行っている『認知症サポーター養成講座』を役員を中心に毎年受講していきます。『認知症』に対する正しい知識を身につけた人達が多ければ多いほど適切な接し方が可能となります。『認知症になっても元気で永く青木平に住み続ける事ができる』地区でありたいと考えています。



班を中心に「近隣見守りサポート」の推進を！  
「見守り活動」の目的はなに？

青木平区の中で・・・

- ◆ 高齢者の**孤立化**を防止する。
- ◆ 一人暮らしの高齢者の**小さな異変**を察知する。

見守りの基本：普段から何気なく気にかける  
時々声をかける、小さなお手伝い（ゴミ出し）

「見守り活動」推進・克服すべき課題

『多少は人の世話になっても良いんだ！』  
『多少は人に頼っても良いんだ！』

**人の意識と行動変化がカギ  
ともに支え合う風土作り！**

人の気持ち、考え方は、一朝一夕には変わらない！  
気がついた時には、「すでに遅し！」にならぬよう！

**認知症 正しい知識を学び、正しく理解する！**

『認知症になっても元気で永く青木平に住み続けることができる地区』でありたい！

**毎年1回** 今年10月28日（日）に行われました。

『認知症サポーター養成講座』を実施

自治会役員を対象にスタート！※一般参加も募集します。

◆ 目的



正しい知識を学び、無理なく、**できる範囲で**  
**手助けできる応援者を増やす**取り組み

「認知症」サポーター養成講座の開催！



中部地域包括支援センター

9月28日(土) 19:00 ~ 20:30

「認知症」サポーター養成講座  
来期も開催します！  
多くの方の参加をお願い致します！



最後に、『青木平区の将来ビジョン』の実現に向け、ご理解と、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

青木平区 区長 武井信夫

## 青木平区の将来ビジョン

◆◆◆◆ 20年後もこんな青木平区であって欲しい ◆◆◆◆

- ◆ 自然豊かで『きれいな住宅地』『住んでみたい』地区でありたい
- ◆ 若者が『楽しく安心して暮らせる』地区でありたい
- ◆ お年寄りが『生きいき、楽しく暮らせる』地区でありたい
- ◆ 『助け合い、協力し合える優しい人達』の地区でありたい

